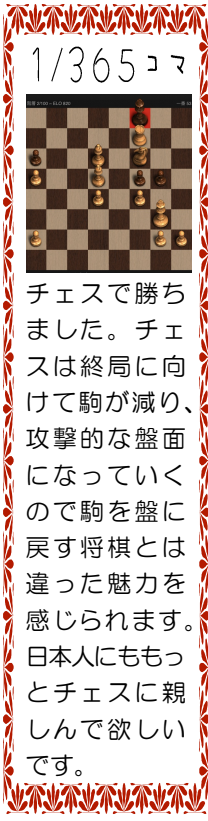




発行
開成中等新聞局
発行責任者 宮崎
* * *
東区北22条東21丁目
TEL 788-6987



1/365コマ

チェスで勝ちました。チェスは終局に向けて駒が減り、攻撃的な盤面になっていくので駒を盤にはずす将棋とは違った魅力を感じられます。日本人にももっとチェスに親しんで欲しいです。

日程、競技方針決定の理由

体育的行事大解剖！

今年後の反省や令和6年度の年間授業時数等の関係から体育的行事について検討し、以下の方向性に決定しました。今後生徒会執行部がこの方向性のもと大綱作成していきます。

- ねらいの達成に向けて
 - 異学年交流機会を設ける必要性から1~6年生までの縦割りでの活動ができる行事を目指す。
 - 令和6年度体育的行事ねらい
異学年でスポーツをすることで・・・
 - ・わたし：自己のよさや可能性を生かし、心身の健全な発達を目指す。【主体性】
 - ・アナタ：互いのよさを認め合い、積極的に人間関係を築く。【国際的な視野】
 - ・min-na：学年を超えて交流を深め、よりよい学校生活を築く。【協働】
 - ・そのすがたがうれしい：日頃の学習や活動の成果を生かし、運動に親しむ態度を育成する。【探究】
- 日程・場所について
 - 令和5年度、体育的行事は2日日程で実施したが、年間授業時数等の関係から令和6年度以降は1日日程となる。
 - 1日日程の競技を本校で実施することが困難であること、雨天時でも影響がない状態で実施することが望ましいことから公共スポーツ施設を貸し切って実施する予定。
 - 生徒、教職員の負担を軽減させることから開成祭の日程とは切り離して実施する。
 - 施設の予約状況によって変化するため、実施日は新年度に決定する。
※ 近年、7~8月が猛暑であることからその月を避けて実施を検討する。
※ 6年次生の入試時期を考慮し、10月以降は実施しない。
- 競技種目・方法について
 - 10期生から男女の人数が同数ではなくなったことなどから男女別の競技を実施しない。
 - ねらい、競技会場に合わせた競技種目をプロジェクトで策定する。

▲Google classroomで公開された令和6年度体育的行事の方針

10月27日にGoogle classroomで令和6年度体育的行事の方向性が公開された。そこでは令和5年度の体育大会からの変更も示された。そこで日程や競技の実施方法変更の理由について4つの項目で担当の渡辺先生に取材した。

全学年縦割り

今回の体育的行事のねらいは学校教育目標、IBの理念と使命、SSH校としての取り組みやSELFの理念にしっかりと関連した活動となることを目標として策定された。全学年縦割りでの競技実施はねらいの主体性と国際的な視野に基づいたものである。今年度の体育大会の中では他学年との交流の機会が少なかつたことへの反省が挙げられた。また、学習指導要領の特別活動編では学校行事においては「異年齢集団による交流」の充実が求められる。体育的行事は学校全体の行事として2学年ごとの期の交流ではなく全学年での交流が望ましい。

別日開催

開成祭と別日程での開催を予定しているのは教員と生徒の負担を減らすためだ。充実期と発展期では生徒主体で行うことも基礎期では教員がサポートすることが多い。開成祭と体育大会の準備期間でも生徒への対応に気を遣う必要がある。2つの行事を同時に進行する事が特に基礎期教員に対して時間的、物理的に過度の負担をかけている。

男女合同

10期生から学年における男女の数が同数でなくなった。さらに多様な性の在り方を認めるべきと考え、男女どちらに参加するのかの選択を強いる必要のない男女合同での競技実施が決定された。また、全学年縦割り、男女合同での競技実施は体育的行事の在り方が大きく関わっている。今年度の反省を踏まえて教員で協議された結果「勝利」や「競争」といった発想から生徒全員でコミュニケーションを取り、共に体育的行事を楽しむという考えを重視していく事となった。学級への所属感や連帯感を育む観点から現在、体育的行事プロジェクトでは学年縦割りの学級対抗でのチーム分けを検討している。

1日日程

今年度は2日半だった日程が1日へと短縮されるのは授業時間との兼ね合いによるものだ。学校